

平成29年度 三行詩コンクール審査結果・作品

平成29年7月13日(木)に、共栄火災ビル7階会議室において、三行詩コンクールの審査委員会が行われました。

全道から応募のあった、小学生の部984点、中学生の部914点、一般の部44点の合計1,942点(昨年1,988点)の作品を各地区PTA連合会で審査し、北海道PTA連合会に推薦されてきた145点の作品を下記の審査基準・要領に基づき審査しました。

1. 三行詩募集テーマ

家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ

2. 審査基準

- ① 家庭での日常の出来事や、学校や地域でのエピソードをもとに、家族で話し合った上記テーマに沿った作品であるか。
- ② 主題(何を表現したいか)がはっきりしているか。
- ③ 家族の会話やコミュニケーションから育まれる「きずな」「家庭のルール」や子供たちの基本的な生活習慣づくりなどの「家庭教育の大切さ」「命の大切さ」をテーマとして短文で表現した作品であるか。

*三行詩とは、三行程度の短文の意味合いであり、必ずしも三行である必要はなく、俳句のようなものでも構わない。

3. 審査要領

① 第1次審査

各審査員に事前に作品を見て、種別毎に審査していただき、優秀な作品を小学校は種別(低・中・高)に6作品以内、中学校及び一般はそれぞれ6作品以内、順位を付けて選んでいただく。

② 第2次審査

事前に選んでいただいた作品を持ち寄り、話し合いによって、小学校は種別(低・中・高)に、中学校及び一般はそれぞれに5作品程度選考する。

③ 日P推薦作品

それぞれに選ばれた作品の中から、小学生の部5作品、中学生の部5作品、一般の部5作品を選考し、日本PTA全国協議会に推薦する。

④ 道P連会長による顕彰

第2次審査まで残った小学校低学年・中学年・高学年、中学生、一般の5部門25作品を優秀賞として道P連会長が顕彰する。(賞状と図書カード)

平成29年度 三行詩コンクール応募作品最終選考結果（小学低学年—1・2年）

| | | | |
|----------|--------------|-------|--|
| 豊浦町 ◎ | 豊浦小 2年 | 藤田 沙姫 | わたしのママは耳がきこえないけど いつもたのしそうなえがおてがんばっている。 そんなママのつうやくをするのがわたしのしごと。 |
| 根室市 ◎ | 北斗小 1年 | 大宮 萌人 | ぼくのいのちは、かぞくのいのち だいじにしよう いのちのきずな |
| 函館市 | 日新小 2年 | 吉田 丈琉 | さかなやにくをだいじにするよ。 いのちをもらうって だいじなことなんだな。 |
| 江別市 | 対雁小 1年 | 渡邊 柚月 | 晴れでも 雨でも くもりでも 笑顔であいさつ 大きな声で |
| 南富良野町 | 南富良野西小 2年 | 大和 心美 | しょくじの時はテレビをけすのがうちのルール。 おかげで みんなでゆっくりお話できる。 |

※ ◎印は全国に推薦した作品です。

平成29年度 三行詩コンクール応募作品最終選考結果（小学中学年—3・4年）

| | | | |
|----------|-------------|------------|---|
| 占冠村 ◎ | 占冠中央小 4年 | ルックス 授那 | テレビはOFF 家ぞくの会話をONにしよう 家ぞくの気持ちが見えてくる |
| 中標津町 | 中標津小 4年 | 戸田 奏 | アルバムの写真の横には 「生まれてくれて ありがとう。」のメッセージ 今 ここにいるのは お母さんのおかげ |
| 根室市 | 花咲小 4年 | 南出 梨娑 | 家族といるとホッとする 笑顔を見ればもっとホッとする 家族はずっと宝物 |
| 江別市 | 大麻西小 4年 | 白石二千花 | やっとなべるようになったとび箱。 「よくがんばったね」とお母さんが言った。 わたしの心はにじ色になったよ。 |
| 中富良野町 | 宇文小 3年 | 間山 悠翔 | にこにこ話しながら 家ぞくでいっしょにごはんを食べる ぼくが一番すきな時間 |

※ ◎印は全国に推薦した作品です。

平成29年度 三行詩コンクール応募作品最終選考結果（小学高学年—5・6年）

| | | | |
|-----------|------------|--------|---|
| 根室市 ◎ | 成央小 5年 | 石野 涼靖 | がんばって失敗しても いっしょうけんめいならいいんだよ その言葉でぼくはがんばれる |
| 中頓別町 ◎ | 中頓別小 6年 | 太田 穂乃香 | ありがとう ありがとう ありがとう 辛い時こそ 感謝の気持ちが大切 母の口ぐせ |
| 富良野市 | 東小 6年 | 中田 來愛 | ありがとう、 お疲れ様、 気を付けて、 優しい声かけ 家族の絆 |
| 旭川市 | 向陵小 6年 | 平田 梨紗 | 笑い合い 家族みんなと わきあいあい |
| 士幌町 | 新田小 6年 | 照井 瞭太郎 | 「おはよう」「おやすみなさい」 家族が居るから 言える言葉 |

※ ◎印は全国に推薦した作品です。

平成29年度 三行詩コンクール応募作品最終選考結果（中学生）

| | | | |
|-----------|-------------|-------|--|
| 江別市 ◎ | 江別第一中 2年 | 千田 空良 | 家族とは 一つのきれない 丈夫なひも 何があっても きずつかない |
| 中頓別町 ◎ | 中頓別中 3年 | 相馬 千愛 | 機嫌が悪くてどれだけ親にあたっても 絶対笑顔でこういうの、 「今日、どんなことあったの？」 悔しいし、照れくさいけど、聞かれるまで 傍でまってる |
| 鶴居村 ◎ | 鶴居中 1年 | 伊豆原花音 | 「好きだよ」とケンカした母に言う。 「知ってる。」と言われ、二人で 笑った。 |
| 陸別町 ◎ | 陸別中 3年 | 村上 夢那 | 家族は、支えてもらったら「ありがとう」と言う 悪いことをしたら「ごめんなさい」と言う 親に「愛している」と言えたらいいね |
| 鶴居村 ◎ | 鶴居中 3年 | 佐藤溪士郎 | 母のような妻をもち、 父のような父親になり、 兄のような息子をもちたい |

※ ◎印は全国に推薦した作品です。

平成29年度 三行詩コンクール応募作品最終選考結果（一般）

| | | | |
|-----------|------|--------|--|
| 池田町 ◎ | 池田中 | 鈴木 良子 | 「ありがとう」 言うのも聞くのも 心地いい 褒め下手な母の第一歩 |
| 北見市 ◎ | 温根湯小 | 苫米地由紀子 | 「そうなのね。」どんな気持ちも 受けとめて、話を切り替え 「行ってきます。」 |
| 江別市 ◎ | 大麻西小 | 白石 智子 | 「絵本を読んであげるね」 風邪をひき 寝ている私の横にきて 娘が言った 「ありがとう」 なによりも 一番効く 薬 |
| 中標津町 ◎ | 中標津小 | 村瀬 陽子 | お父さんに ぎゅう ぴたっ ぴとっ おかえりなさい おやすみなさい いってらっしゃい ぎゅう ぴたっ ぴとっ お母さん 僕 妹 お父さんにみんなくつつく ぎゅう ぴたっ ぴとっ |
| 千歳市 ◎ | 富丘中 | 佐藤 裕子 | 行ってらっしゃい気をつけて 言葉の御守り 贈り合う |

※ ◎印は全国に推薦した作品です。